

△警告 はしごを背にしたり、手放して昇り降りしないでください。
身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

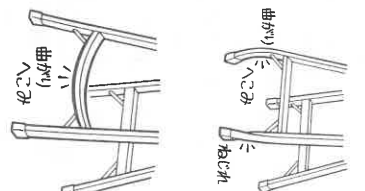
△警告 はしごの支柱から身体を乗り出さないでください。
身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 はしごの上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。
壁などを無理に押したりすると、その反動ではしごが立ち上がったリ、ずれたリして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

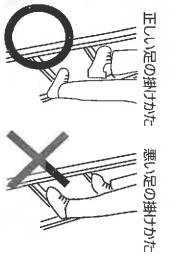
△警告 はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。
傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

△使用前の点検
はしご兼用脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

- 1.目で見て、下記の点検をしてください。
 - ① 踏ざんにクレーン・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。(7ページを参照)
 - ② 支柱に曲がり・ねじれ・へこみかありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
 - ③ 踏ざんに曲がり・へこみかありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

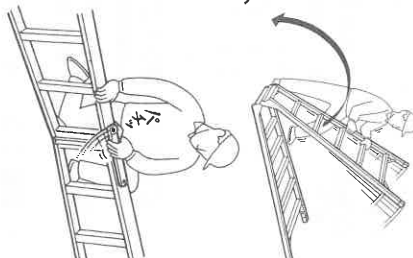


●踏ざんに乗るときは図のように足を掛けてください。
●脚立を移動するとき、脚立から地上に降りて移動してください。

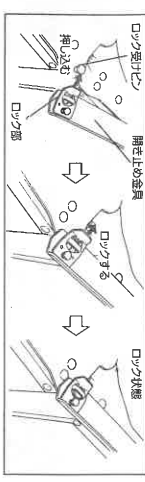


はしご状態での使いかた

- 1.はしごにするときとたたみかた
〈はしごにするとき〉
① はしご兼用脚立を折りたたんだ状態のまま、床面に寝かせて置いてください。
② 上側の踏ざんを持って、いっぺいまで開いてください。
③ はしご兼用脚立を横向きに起こし、左右の開き止め金具をロックで受け止めにロック部で確実にロックしてください。

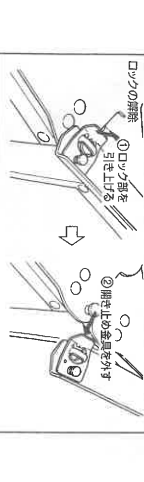


△注意 はしご兼用脚立を横向きに起こしたとき、上から力を加えないでください。製品が変形する恐れがあります。



〈たたみかた〉
① はしごを横向きに起こし、左右のロック部を解除して、開き止め金具を外して折りたたんでください。

△注意 横向きにしたとき、上から力を加えないでください。製品が変形することがあります。



△注意 はしごを折りたたむときは、慎重に行ってください。乱暴にしますと、変形や破損の原因になります。

④ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

⑤ リバット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

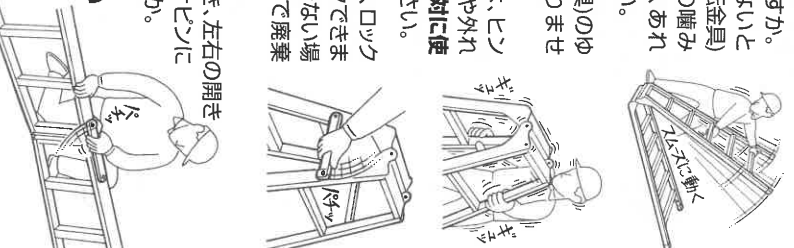
⑥ 滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないでください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止めキャップ(支柱端具)と交換してください。

⑦ 各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



⑧ 支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

- 1 スムースに開閉できませんか。スムースに開閉できないときは、左右のヒンジ(回転金具)に泥やセメント・ごみの噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。
- 2 左右のヒンジ(回転金具)のゆるみやガタツキがある場合は、ガタツキがある場合は、ヒンジ(回転金具)のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないで廃棄してください。
- 3 左右の開き止め金具は、ロック受けピンに確実にロックできますか。確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- 4 支柱をいっぺいまで開き、左右の開き止め金具は、ロック受けピンに確実にロックできますか。確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



設置場所について

1.脚立状態で使うとき

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また脚立が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は脚立の位置を移動してガタツキを取り除いてください。

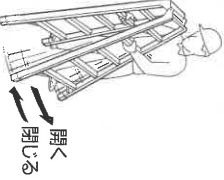
2.はしご状態で使うとき

- ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所、またはしごが埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- はしごの周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- はしごの接点か使用質量に十分耐えられ、構すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキを取り除いてください。

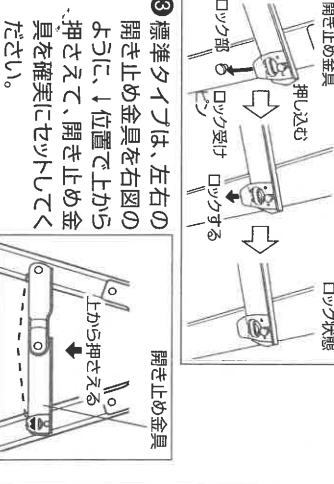
脚立状態での使いかた

1.脚立にするときとたたみかた

- 1 はしご兼用脚立の踏ざんを両手で持ち、片方の支柱をほぼ垂直に立ててください。
- 2 もう一方の支柱を、右図のように開いてください。



※はしご状態から脚立にする場合は、左右の開き止め金具を、下図のように掛けてください。



2.保管のしかた

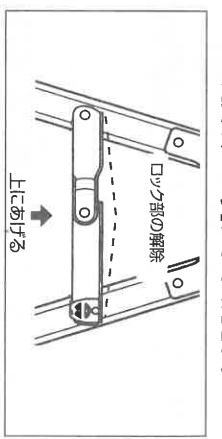
- 1 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
- 2 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

△注意 ●保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
●農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

「故障かな?」と思ったら(不調診断)

点検する箇所	現象	原因	対処のしかた
点検する箇所	開き止め金具に、変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。	開き止め金具に、変形がありませんか。
点検する箇所	ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありますか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。	ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありますか。
点検する箇所	支柱とヒンジ(回転金具)の接合部に、ゆるみやガタツキがありますか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。	支柱とヒンジ(回転金具)の接合部に、ゆるみやガタツキがありますか。
点検する箇所	開き止め金具に、変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。	開き止め金具に、変形がありませんか。
点検する箇所	ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありますか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。	ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありますか。
点検する箇所	支柱とヒンジ(回転金具)の接合部に、ゆるみやガタツキがありますか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。	支柱とヒンジ(回転金具)の接合部に、ゆるみやガタツキがありますか。

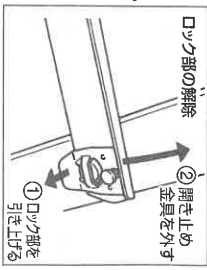
〈たたみかた〉
{標準タイプ}
① 左右の開き止め金具を下図のように、↑位置で上に向けて、金具を「へ」の字にしてください。



② 両手で踏ざんを左図(＜脚立にするとき＞を参照)のように持ち、慎重に折りたたんでください。

一体タイプ

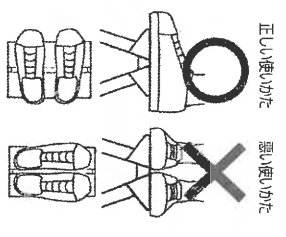
- 1 左右のロック部を解除し、開き止め金具を外してください。
- 2 両手で踏ざんを左図(＜脚立にするとき＞を参照)のように持ち、慎重に折りたたんでください。



△警告 開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと可動部や回転部などで手をはさんだり、変形や破損の原因になります。

2脚立の昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、必ず左右の開き止め金具が確実にロックされていることを確認してください。
- 運動靴など、滑りにくい靴をはいてください。
- 身体の前面を脚立の昇降面に向け、慎重に昇り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにしてください。
- 天板に乗るときは、身体が天板の中央にくる位置に乗ってください。
- 脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。



〈現象〉 ●設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
脚元や先端が曲がっていますか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
滑り止めキャップ(支柱端具)が、外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)

〈現象〉 ●大きくガタガタしている。
点検する箇所
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。
ある場合は、使わないで廃棄してください。

支柱や踏ざんに、曲がりやへこみなどの変形はありませんか。
ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉 ●折りたたんだとき、合わされる脚に大きなズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
ヒンジ(回転金具)に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ヒンジ(回転金具)を止めているリベットが、ゆるんだり外れたりしている場合は、使わないで廃棄してください。	ゆるんだり外れたりしている場合は、使わないで廃棄してください。

△警告 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

製品本体にSGマークが表示されているものについて(ご説明)
SGマーク制度は、製品の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

ピカコーポレーション
〒577-0013 大阪府東大阪市南田中4-4-10
ナビタヤヤル 0570-0640065
(土日・祭日は休診)

ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>
※この取扱説明書は、軽金属製品協会企画・制作したものです。
無断転載を禁じます。 P22.01 735130301419